

2020年9月4日

各位

株式会社ドーン

東京消防庁で映像通報システム「Live119」を試行運用

—映像を活用した口頭指導を検証—

株式会社ドーン（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：宮崎正伸）が提供する「Live119」（119番通報の際にスマートフォンによるビデオ通話を行うシステム）を活用し、通報者に対する口頭指導を行う試みが、東京消防庁で開始されます。

1 東京消防庁における試行運用の概要

(1) 開始日

2020年9月9日（救急の日）

(2) 内容

東京消防庁の23区特別区域内の119番通報を受ける災害救急情報センターにおいて「Live119」を利用し、通報者に対して映像による口頭指導を実施し、その効果（傷病者の正確な容態把握、有効な応急処置の実施状況の確認、会話のみの口頭指導との比較）について検証するもの

(3) 背景・目的

東京消防庁では、応急手当の実施率と救命効果の向上のため、通報受付対応と並行し、通報者に対する口頭指導の強化に取り組んでいるが、会話による口頭指導だけでは傷病者の正確な容態把握や有効な応急処置の実施状況の確認が困難なケースがあることから、映像を活用した口頭指導の効果について検証を開始するもの

2 「Live119」とは

「Live119」は、当社が開発した消防機関向け映像通報システムであり、119番の通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を撮影し消防に伝送するシステムです（※）。

消防管制室は、通報者が撮影する映像から通報現場の詳しい状況（事故・火災や傷病の様子）を確認し、音声による119番通報だけでは把握が難しい視覚的な情報をリアルタイムに収集することができ、救急事案等の際に通報者への効果的な口頭指導を支援します。

このシステムの利用は、消防管制室が必要に応じて通報者に依頼し、119番通報の発信元電話番号宛に案内されるウェブサイトが通報者が表示することでビデオ通話が開始される方式を採用しています。専用アプリを事前にダウンロードする必要がなく、一般市民にとって心理的な余裕がない緊急通報の際にも簡単な操作で利用できるよう配慮しているため、多くの事案に活用されることが期待できます。

<Live119の利用イメージ>



※ 「Live119」は、株式会社ドーンの商標です。

※ 当社報道発表資料

- ① 2019年4月22日付「消防機関向け映像通報システム「Live119」をリリース」(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/f0a3c9b4/115f/4dcd/8051/9ac99bc7ca8e/140120190419407269.pdf>)
- ② 2019年11月6日付「映像通報システム「Live119」の試行運用を神戸市消防局管内の119番通報で実施」(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/55a905e3/e5dd/4849/a09b/205f9f5c6a61/140120191105419484.pdf>)
- ③ 2020年7月9日付「「神戸市消防局・小野市消防本部で映像通報システム「Live119」の本運用を開始」(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/16e6fee2/e529/443c/8418/715ef670b558/140120200709459754.pdf>)

3 経緯と今後の展望

近年、行政の災害対応等における現場情報の迅速かつ正確な収集が課題となっており、映像伝送による情報共有の技術に期待が高まっています。当社は、これまで消防救急をはじめとする防災分野の情報共有を支援するさまざまなシステムを提供しており、その技術やノウハウを活用することで、緊急通報におけるリアルタイムな映像伝送の仕組みを実現しました。

5G時代の到来により今後、映像通信の利用の広がりが見込まれるなか、この技術がさまざまなシーンで市民生活や安全の確保に役立つことが期待されます。

当社は今後も、様々な空間情報技術を活用した新しいサービスの展開を積極的に進め、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

以 上

<ご参考> 株式会社ドーンについて

地理情報システム（GIS）を構築するための基本ソフトウェアやGIS関連システムの開発・販売を事業の柱とし、近年は防災・防犯分野で使われる空間情報技術を提供するクラウドサービスに注力しています。

<問い合わせ先>

株式会社ドーン管理部 IR 担当

TEL : 078-222-9700 E-mail : dawn@dawn-corp.co.jp